

◎令和5年度白石市病院事業
会計決算の認定について

【質疑】指定管理者制度を導入し、医療法人仁誠会による運営を開始したが、病院運営の評価は。

【答弁】救急患者の受け入れ件数や病床稼働率の大幅な増加、単月黒字化の達成など、大きく状況が変わっている。

指定管理者において、白石高校の看護実習や整形外科手術の再開、「連携プラン」に基づく回復期医療の充実のため、リハビリの職員を増員、休床している病床47床も看護師の採用を進め、今年度中の再開を目指す。

市としても、3階病床床の全面改修、1階受付ロビーの照明のLED化を実施、企業債の一部を繰上償還するなど、これまでできていなかったものの実施や整理をしている。
今後指定管理者と協力し、仙南地域の医療の充実に貢献していきたい。

決算審査特別委員会

第62号議案・令和5年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定についてから第64号議案・令和5年度白石市病院事業会計決算の認定についての3議案は、定例会4日目（9月13日）の本会議において質疑が行われた後、議長および監査委員（四竈英夫）を除く全議員で構成する決算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。
同委員会（委員長・大森貴之、副委員長・高子秀明）は、9月24日・25日の2日間に行ったり審査を行い、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決及び認定しました。
審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

一般会計

総務費

◎白石市民バス運行管理事業・
運行状況

【質疑】中学生の通学利用の実情に合わせた運行計画の見直しの内容と、その効果は。

【答弁】東中学校の完全下校時間が午後5時と早くなったことに伴い、午後6時台発の白川線6便を廃止、午後4時台発の

4便の運行期間を延長した。
市民バス乗降調査によると、中学生の利用者数は、4便、5便とも平均6.3人であったことから、利用頻度が高いものと分析している。

【質疑】まちなか循環便以外の利用者数は、前年度と比較し1日当たり1人増にも満たないが、次なる方策の内容は。

【答弁】一人ひとりに合った移動手段を、既存の公共交通だけで確保することは困難である。
鉄道やバス、タクシーに加え、市民バスや乗合タクシー、住民

主体の地域内交通など、多様な交通サービスと連携し、本市の実情に合った移動手段の確保に努める。

◎男女共同参画推進事業

【質疑】女性委員の登用が、数値目標（40％）に達しない要因は。

【答弁】数値目標に達しない要因として、①団体内に女性が少ないため、委員に推薦されにくいこと、②女性人材の少ない分野があること、③団体等から選出される委員の多くが団体等の長であり、女性の推薦に繋がりにくいことなどが考えられる。

◎ふるさと納税推進事業

【質疑】寄付金額増加を見込む上での今後の課題は。

【答弁】本市の魅力発信、魅力ある返礼品の提供、寄付者の利便性の向上が課題である。
今後寄付受け入れポータルサイトや中間事業者と連携

し、本市や返礼品を紹介する特集記事掲載などに取り組んでいく。また、寄付受け入れポータルサイトや中間事業者の追加、見直しなどの検討を進めるとともに、市内の事業者と連携し、魅力ある返礼品の提供や開発などにより、事業者の売り上げの向上にも取り組んでいく。

【質疑】令和5年度のリピーター率は。

【答弁】本市に2回以上寄付をした方は2996人、7283件で、件数に対するリピーター率は16％である。



70th ANNIVERSARY